



ベンゼンタンクサンプリング作業でのバルブ開め忘れによるベンゼンの漏洩

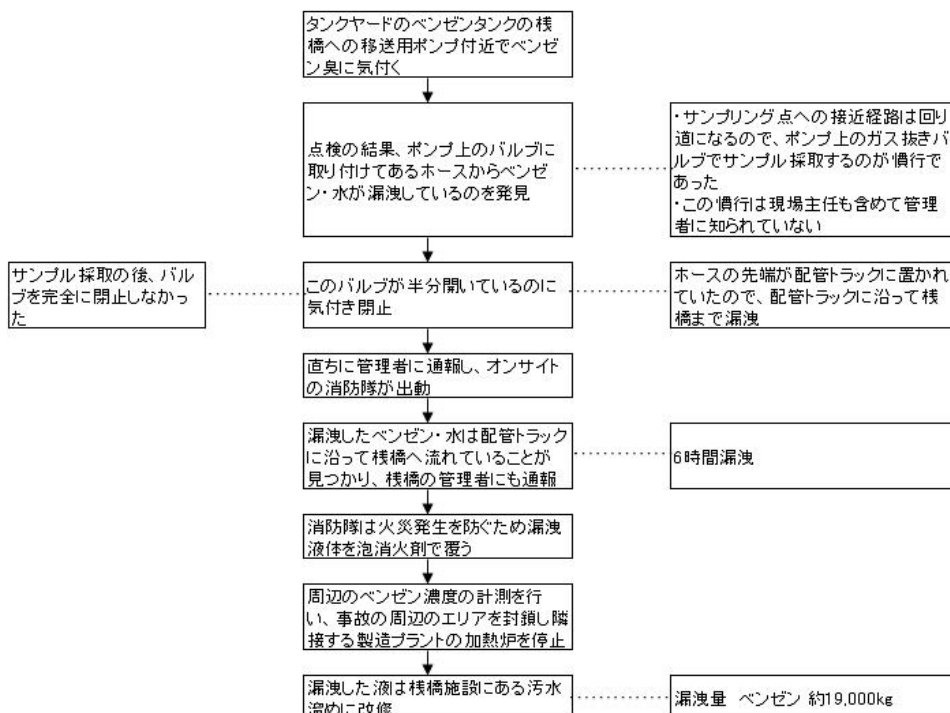
事象進展図

00382	ベンゼンタンクサンプリング作業でのバルブ開め忘れによるベンゼンの漏洩
発災年月日	1992年11月7日
装置	ベンゼンタンク
運転状況	サンプル採取
特徴	正規ではない箇所よりサンプル採取の後、バルブを完全に閉止しなかったことからベンゼン漏洩

原因

事象の進展・経緯

備考



再発防止策

オペレータの訓練と監督を改善

安全専門家コメント

運転員が自分達の都合で勝手にサンプリング場所を変更し、バルブの開め忘れの操作ミスをして当該事故を起こしたものである。操作方法・手順を変更するときは当然のことながら責任者の許可を得るのが基本ルールである。勝手に変更しているということは現場において安全活動・教育が不十分であることを示している。極端に言えば、会社の安全文化がこのようなレベルであったのかもしれない。

サンプリング場所が遠回りしていかなければならないような個所で運転員が不満に思っているのであれば、その意見を現場運転員から吸い上げて、サンプリング場所・方法を検討する体制が取られていることが必要である。人は多少の危険があっても楽な方法を選択するものだと言われている。例えば、花壇の中にけもの道がすぐ出来るようなものである。

ベンゼンは可燃性、有毒性ともにきわめて高い危険物であるが、オペレータの作業をチェックする仕組みや、安全教育が欠如していた。再発防止のためには、根本原因分析や事業所全体のヒアリングにより、経営者も含めた組織的要因や事業所全体の危機認識を明確にすることが必要である。

引き金事象発生の原因

ポンプのバントバルブでサンプリングし、バルブを開め忘れた

事故の引き金事象

ベンゼンの漏れ

事故に関係した直接・間接要因

《人的要因》
・誤操作・不作為など
《管理・運営要因》
・運転作業手順の変更など



ベンゼンタンクサンプリング作業でのバルブ閉め忘れによるベンゼンの漏洩

添付資料・参考文献・キーワード

参考資料（文献など）

MARS Database

▶ 添付資料

▶ キーワード(>同義語)

- 🔑 ポンプ
- 🔑 作業変更
- 🔑 弁>バルブ
- 🔑 作業手順
- 🔑 貯蔵入出荷設備>オフサイト設備
- 🔑 バルブ閉め忘れ
- 🔑 サンプリング>試料採取
- 🔑 海上入出荷系
- 🔑 配管>パイプ

▶ 関連情報